

第1学年音楽科「その場でつないで♪ たんうんミュージック」

学習指導者 高塚 仁志

諦めずに試行錯誤する力を身に付けさせるために、まだやったことがないやり方を探して試してみるという方法を習得させていきました。子供たち自身で取り組む方法を選択しながら学びを進める時間を設定することで、自分たちの学び方を調整しながら、「やってみようシート」を使って多様なやり方で課題解決に向けて粘り強く取り組んでいけるようにしました。

もっともっと面白い音楽にするために音を変えてみよう

【見通し】

「何でどこを叩くか」を考えて発表し、それを学級全体で模倣してリズムを打つ音遊びを行いました。身体や身の回りの物を使って出せる様々な音色の面白さに気付かせ、本題材で取り組んでいる、リズムを即興的に打ちながらペアでリレーをしてつないでいく「たんうんミュージック」



に生かすことで、もっと面白い音楽にしたいという思いを高められるようにしました。

【行動】

子供たちは、どんな音色が出せるかを探したり、他のグループの様子を見に行ったりして様々な音色を見付け、それを実際に使って「たんうんミュージック」をやってみるなど、自分たちで取り組む方法を選択しながら学びを進めていきました。また、各グループにある端末から見られるようにしている「やってみようシート」には、子供たちが新たに見付けた音の出し方を教師がその都度追記・反映し、確認できるようにすること



で見付けた工夫を真似してやってみたりするなど、まだやったことがないやり方を探して試す方法を使う姿が見られました。

【振り返り】

ふりかえりたいむ

- ① きょう、じぶんができたことをはっぴようする。
- ② できたことがわからないともだちがいたら、できていたことをつたえる。



自分や友達が本時にできたことをグループで発表し合い、自分の学びを捉えられるようにしました。全体交流では、取り組む順番を自分たちで選択して取り組んだり、諦めずに試行錯誤する方法を使ったりしたことで面白い音楽になったことを価値付けました。

成果と課題

○20分間の自由な時間に子供たちは取り組む方法を選択して、自己調整しながら課題解決に向かうことができていた。途中でいくつかのグループから、見付けた工夫を学級全体に紹介する場面もあり、それを取り入れて試す姿も見られた。

▲「やってみようシート」を十分に活用していない子供も見られた。シートの中で本時に関わる部分だけを拡大したり、文字だけでなく写真や絵を使ったりするなど、視認性を高めることでさらに活用させることができたのではないかな。